

令和 6 年度 第 2 回次世代空モビリティひょうご会議

令和 7 年 3 月 19 日
15 : 00 ~ 16 : 30
兵庫県庁 2 号館 5 階庁議室

会議次第

02

1	開 会
2	(1) 空飛ぶクルマ実装促進事業補助金採択事業成果報告 ①事業概要説明 ②採択事業者による成果報告 (2) 県事業報告・今後の会議実施方針等について ①令和7年度当初予算における空飛ぶクルマの主な取組み ②前回会議の総括及び来年度の当会議の進め方について
3	意見交換
4	閉 会

【会議資料】

資料 1 : ①令和 6 年度空飛ぶクルマ実装促進事業補助金概要 (P.07～)

②兵庫県事業報告

・ 令和 7 年度当初予算における空飛ぶクルマの主な取組み (P.10～)

③今後の会議実施方針等 (P.12～)

資料 2 : 空飛ぶクルマ実装促進事業補助金 採択事業者成果報告

構成員出席者

03

区分	所属・職名等	氏 名	備 考
有識者	県立大学自然・環境科学研究所 教授	赤澤 宏樹	
	県立大学大学院工学研究科 准教授	荒木 望	
	株式会社BUZZPORT 代表取締役	江藤 誠晃	
	公益財団法人新産業創造研究機構 理事兼事務局長	川村 昌志	随行：技術支援部門長 森田 光徳
	株式会社神戸新聞社メディアビジネス局長	箸本 史朗	
	慶應義塾大学大学院SDM研究所 顧問	中野 冠	
事業者	オリックス株式会社 大阪事業法人営業第一部 課長	野澤 義直	随行：主任 山尾 祐介
	兼松株式会社 航空宇宙部第1課 課長代理	中村 康平	
	株式会社SkyDrive エリアマネージャー	戸村 竜也	
	全日本空輸株式会社 大阪支店 支店長	松井 規代	(オンライン)
	日本航空株式会社 エアモビリティ創造部シニアアドバイザー	佐々木 康人	(代理出席者)
	株式会社パソナグループ 執行役員Well-being本部長	大出 亮	
オブザーバー	丸紅株式会社 航空宇宙・防衛事業部シニアアドバイザー	菊池 武夫	(代理出席者) 随行(オンライン)：航空第三課課長 吉川 祐一
	経済産業省製造産業局航空機武器宇宙産業課次世代モビリティ政策室 次世代モビリティ戦略企画調整官	山本 健一	(オンライン)
	国土交通省 航空局 安全部 無人航空機安全課 無操縦者航空機企画室 室長	甲斐 健太郎	(オンライン) 随行：主査 白敷 ひかり(オンライン)
	大阪府商工労働部成長産業振興室産業創造課 課長補佐	佐々田 修之	(オンライン)
	神戸市 都市局 部長 (未来都市担当)	武田 史郎	随行：都市局未来都市推進課 武田 将司
関係者 地域	尼崎市 経済環境局 経済部 産業政策課 係長	名井 透	(オンライン)
	淡路市企画情報部付部長 (まちづくり政策担当)	野田 勝	(オンライン)
	城崎温泉観光協会会長	高宮 浩之	(オンライン)

兵庫県出席者

04

所属・職名等	氏 名	備 考
知事	齋藤 元彦	
企画部長	守本 豊	
産業労働部長	原田 剛治	
産業労働部次長	團野 礼子	
土木部次長	大谷 浩司	
[事務局（企画部総合政策課）]		
政策推進官兼副課長	森田 晃	
主査	高田 慎也	

空飛ぶクルマ実装促進事業補助金 採択事業成果報告 発表者

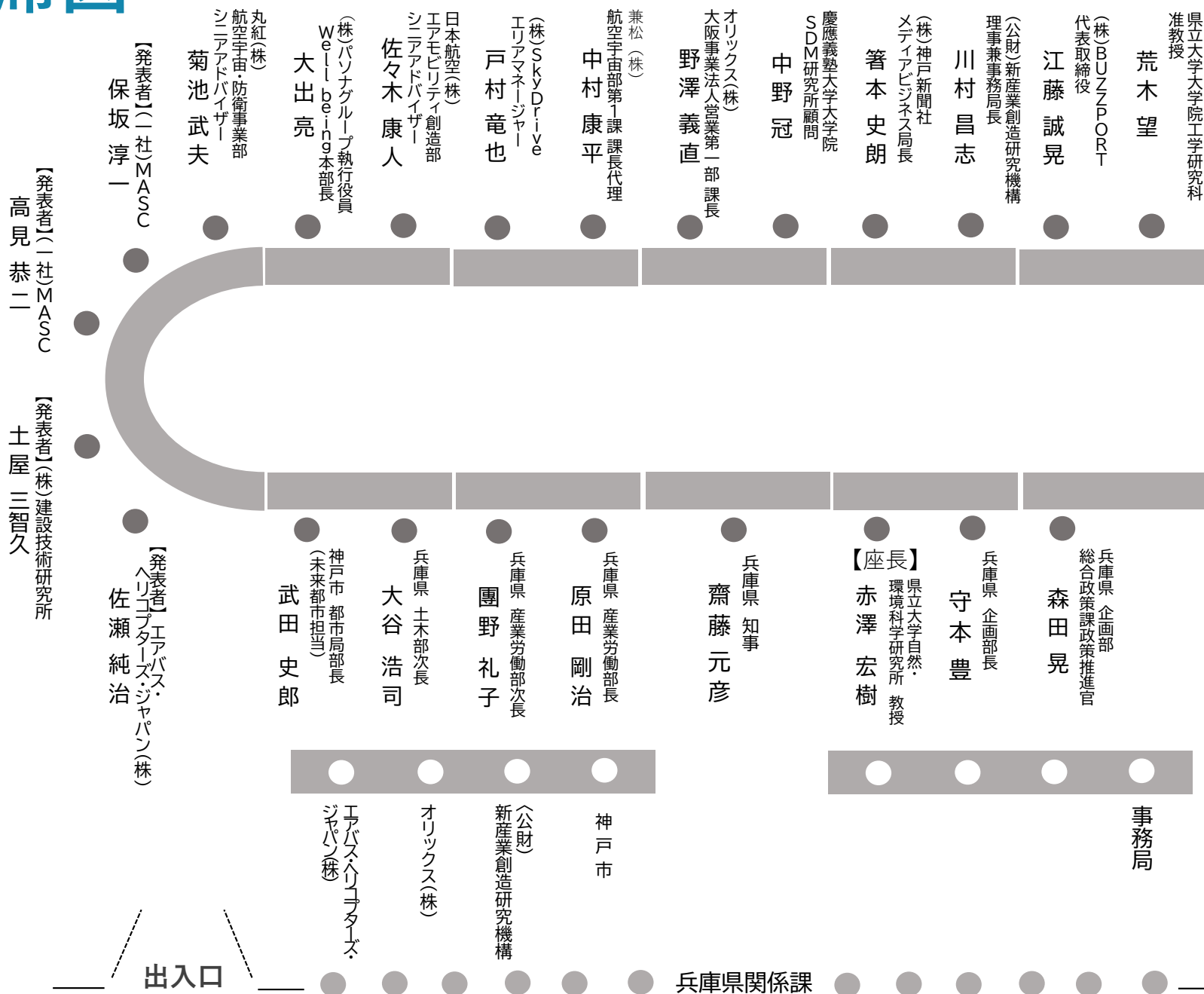
05

	採択事業名	事業者・発表者職名	氏 名
1	関西・瀬戸内エリアにおける空飛ぶクルマ社会実装事業	(一社) MASC 事業開発部	保坂 淳一 高見 恭二
		(株) 建設技術研究所 交通システム部 技師長	土屋 三智久
2	エアモビリティ統合運航管理プラットフォーム事業	三井物産 (株) モビリティ第二本部 航空宇宙部 次世代モビリティ事業開発室	石田 建将 (オンライン)
3	兵庫・大阪における空飛ぶクルマの医療分野の有効活用の検討Ⅱ	エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン (株) マーケティングマネージャー	佐瀬 純治
4	【続】兵庫県内における離着陸場設置検討調査	兼松 (株) 航空宇宙部第1課 課長代理	中村 康平
5	空飛ぶクルマの運航事業実現に向けた検証調査 ～みんなでつくろう！関西から始まる新しい空の世界～	丸紅 (株) 航空宇宙・防衛事業部航空第3課 課長	吉川 祐一 (オンライン)

※次第2 (1) 「空飛ぶクルマ実装促進事業補助金採択事業成果報告」の発表順は上記の通り

配席図

06



記者席

傍聴席

モニター

令和 6 年度 空飛ぶクルマ実装促進事業補助金 採択事業成果報告

令和6年度 空飛ぶクルマ実装促進事業補助金(概要)

08

- ・県内において空飛ぶクルマを活用したビジネス展開をめざしている事業者の取組を支援
- ・なお、本事業は大阪府、大阪市、神戸市と連携

【R6主な拡充】 **ビジネス化に資する取組に対する補助上限を引上げ**

補助内容

	兵庫県・大阪府枠 ※1	兵庫県枠 ※2
補助対象者	兵庫県域及び大阪府域で事業を行う事業者	兵庫県域のみで事業を行う事業者
対象事業	(1)飛行実証等ビジネス化に資する事業(採択後5年間のビジネス構想提出が必須) (2)ビジネスモデルの検証に資する事業	(3)離着陸場設置の準備事業
補助割合	対象経費の2分の1以内 (兵庫県4分の1/大阪府4分の1)	対象経費の2分の1以内
補助額(上限)	(1)60,000千円(県30,000千円+府30,000千円) (2)10,000千円(県 5,000千円+府 5,000千円)	(1)30,000千円 (2) 5,000千円 (3)10,000千円

※1 大阪市域を含む場合には大阪市補助事業による支援あり
(上限10,000千円と上限2,500千円の枠)

※2 神戸市域を含む場合には神戸市補助事業による支援あり
(上限500万円)

令和6年度 空飛ぶクルマ実装促進事業補助金(概要)

09

補助事業

事業者		事業名	対象事業※1	補助自治体
1	丸紅株式会社	空飛ぶクルマの運航事業実現に向けた検証調査 ～みんなでつくろう！ 関西から始まる新しい空の世界～	(1)	兵庫県 大阪府 大阪市
2	一般社団法人M A S C	関西・瀬戸内エリアにおける空飛ぶクルマ社会実装事業※2	(1)	
3			(2)	
4	三井物産株式会社	エアモビリティ統合運行管理プラットフォーム事業	(2)	
5	エアバス・ヘリコプターズ・ ジャパン株式会社	兵庫・大阪における空飛ぶクルマの医療分野の有効活用の検討Ⅱ	(2)	
6	兼松株式会社	【続】兵庫県内における離着陸場設置検討調査	(2)	兵庫県 神戸市

※1 (1) 飛行実証等ビジネス化に資する事業、(2) ビジネスモデルの検証に資する事業

※2 事業名は同一であるが、取組内容は2, 3で異なる。

兵庫県事業報告

～令和7年度当初予算における空飛ぶクルマの主な取り組み～

令和7年度当初予算における空飛ぶクルマの主な取組み

- ・ 4月に開幕を迎える万博を契機として、空飛ぶクルマへの**県民の社会受容性向上を推進**するため、万博会場と尼崎フェニックス事業用地の2地点間を結ぶ**デモフライトに合わせた気運醸成イベント**を実施
- ・ 万博後の社会実装に向け、引き続き**関係者との意見交換**や**ビジネス化を目指す事業者支援**を実施

空飛ぶクルマデモフライトイベント [新規] [8,078千円]

- デモフライトに合わせて賑わいイベントを実施

区分	内容
期 間	万博期間中1ヵ月のうち土日8日間
場 所	ひょうご楽市楽座会場
予定運航事業者	丸紅（株）※機体:VerticalAerospace(VX4)
コンテンツ	①座談会、②フライト見学、③記念撮影、④紙飛行機工作・フライト体験、⑤VR体験

次世代空モビリティひょうご会議 [継続] [505千円]

- 万博後の社会実装に向け、県として取組む今後の方向性等を議論

区分	内容
開催時期	年2回程度開催予定（時期は別途調整）
構成員	有識者、事業者、ガザバー（国、大阪府、県内市町等）
検討内容	・ 県内における将来的な利用シーン ・ 関連ビジネスの定着に向けた環境整備 ・ 社会受容性向上に向けた取組

空飛ぶクルマ実装促進事業 [継続] [75,369千円]

- 万博後の社会実装を目指す事業者の実証実験等を支援

【補助実績】

R5	R6
6件	6件

区分	内容
補助上限	①実機実証・ビジネス化準備 上限30,000千円 ②ビジネスモデルの検証 上限5,000千円 ③離着陸場整備準備 上限10,000千円
対象者	空飛ぶクルマの社会実装に取組む事業者
対象事業	(1) 兵庫県域のみの事業 (2) 兵庫県域+大阪府域の事業
補助率	対象経費の1/2以内（大阪府との連携の場合は1/4）

今後の会議実施方針等 ～前回会議での意見総括及び来年度の進め方について～

前回会議（R6.10.15実施）での主な意見

13

1 空飛ぶクルマ事業の方向性

- ・ **具体的**なプロジェクトとして考え、**バックワード的**に取組みを進めていくことが必要
- ・ 2030年以降だけではなく、2030年に向けて**今から出来ること**を考えることも必要

2 事業化に向けた取組み

- ・ 地元や住民からの理解を得るため、**公益性の高い活用**（**救急医療・災害対応等**）と組み合わせた活用策を検討することが重要
- ・ 事業を継続させるためには維持費等の**負担を下げる取組**を検討することも重要

3 社会受容性の向上・情報発信

- ・ **医療や災害活用**など、富裕層だけでなく**県民にとっても自分ごと化**できる情報発信やP Rが重要

4 関連ビジネスへの波及

- ・ **県内の様々な産業へ波及**（**県内産業へ還元**）させていくことを見据えながら、空クル事業を支援していくことが必要

総 括

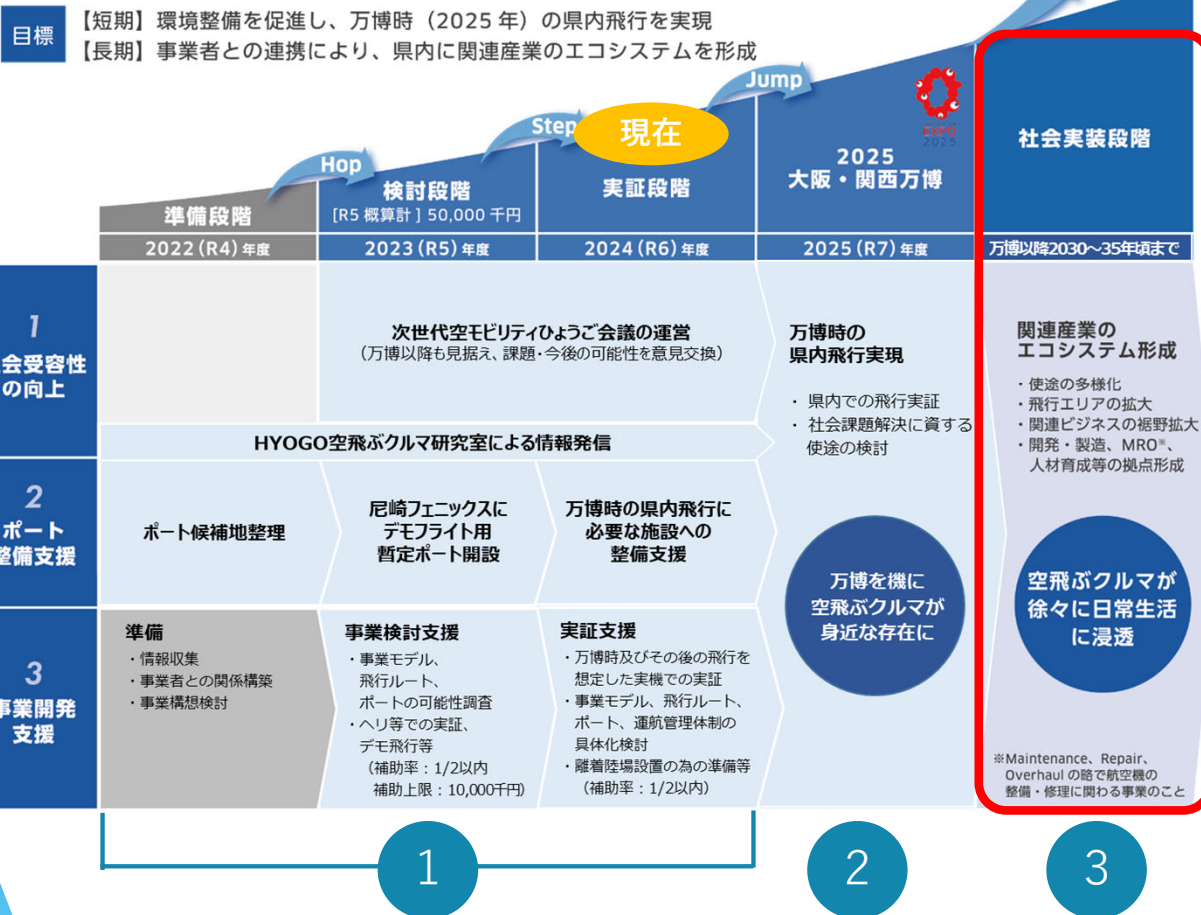
一般論から具体的な取組へ

- ▶ 一般論を議題・テーマとした会議内容は一定目途
- ▶ 空飛ぶクルマ事業の**具体的な方向性等**を検討する必要

兵庫県におけるこれまでの取組み

- ・ 現行のロードマップに基づき、社会実装に向けた取組みを着実に推進
- ・ 長期目標である関連産業のエコシステム形成に向け、**万博後(R7年度以降)の取組内容を具体化**させる必要

空飛ぶクルマの展開ロードマップ



① 検討・実証段階(～R6)

1 社会受容性の向上

- ・ 次世代空モビリティひょうご会議 (R5～)
[開催実績] 計4回実施 (R5：2回、R6：2回)
- ・ HYOGO空飛ぶクルマ研究室 (R4～)

2 ポート整備

- ・ デモフライト用ポート設置 (R5)

3 事業開発支援

- ・ 空飛ぶクルマ実装促進事業 (R5～)
[補助実績] 延べ11件 (R5：6件、R6：5件)

② 大阪・関西万博の開催 (R7)

③ 社会実装段階(R8～)

- ・ 県内での社会実装や関連産業のエコシステム形成に向けて、今後**県としての取組む具体的な方向性**等を検討する必要

今後の次世代空モビリティひょうご会議実施方針(案)

15

方 針

○大阪・関西万博が開催される来年度を節目として、これまで議論してきた内容を踏まえ、空飛ぶクルマ事業における本県の今後の方向性等を検討する

スケジュール案

